

新型コロナウイルス感染症に係る鳥取・兵庫両県の対応状況について

指標等	鳥取県	兵庫県
新規陽性患者数	注意報は 7/15 まで 県東部 1 人 (7/17 現在) 入院中	感染小康期 10 人未満 (4.4 人 7/14 現在) ※ 1 日当たり (直近 1 週間平均) 対応の方向性：予防
7/10～社会活動の見直し		
基本事項	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取型「新しい生活様式」 「新型コロナ克服 3 カ条」 ・人と人 <small>あいだ</small> <small>あい</small>間が愛だ ・三つもの <small>みつ</small>密だとミスだ ・幸せは <small>よぼう</small>予防でよぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ひょうごスタイル」 ・感染拡大を予防する「日常生活」(ライフスタイル) ・感染拡大を予防する「働き方」(ワークスタイル) ・自然災害と感染症との「複合災害」への備え(災害文化)
地域間の移動	<ul style="list-style-type: none"> ●往来を注意すべき地域として県民にお知らせ (7/8 現在) 【特別感染警戒地域】東京都 他 2 県 【重要感染警戒地域】神奈川県 他 2 府県 【感染警戒地域】北海道 他 7 府県 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都など人口密集地との不要不急の往来を控えるよう努める。
外出自粛	○ 3 密を避け、感染防止距離 (約 2 m) を確保、マスクの着用・手洗いの遂行	<ul style="list-style-type: none"> ●発熱等の場合、外出を控える。 ●接待を伴う飲食店等の出入りについては、特段の注意を払う。
イベント開催自粛	<ul style="list-style-type: none"> ○感染防止策を徹底して以下の基準で実施 屋内：5,000 人以下かつ定員の半分以下 屋外：5,000 人以下かつ距離を十分確保 ●全国的・参加者 1,000 人以上は本部への事前相談。またすべての参加者の連絡先等を把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染防止策を徹底して以下の基準で実施 屋内：5,000 人以下かつ定員の半分以下 屋外：5,000 人以下かつ距離を十分確保 ●全国的・大規模イベントは延期等、慎重な対応を促す ●全国的・参加者 1,000 人以上は本部への事前相談
事業活動の制限	<ul style="list-style-type: none"> ●県版ガイドラインを 11 業種で策定 ●新型コロナウイルス感染症予防対策「協賛店」制度を導入 ●高度な感染予防策に取り組む事業者に対し、協賛店のモデルとなる「認証」制度 (2 店舗) 	<ul style="list-style-type: none"> ●業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等に基づく対策を徹底 (検温、換気、人数制限、連絡先登録など) ●「兵庫県新型コロナ追跡システム」への登録
観光	<ul style="list-style-type: none"> ●県をまたぐものを含めて徐々に実施 ・体調に不調が生じた場合は、来県を控えていただく 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内に加えて、県外からの積極的な呼び込みを実施
災害	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所での感染症対策 ・避難所の事前確認、体調確認 ・マスク、体温計、消毒液の持参 ・避難所における感染防止距離の確保、換気の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドラインの活用 ●複合災害に対応するための事前準備 (避難所確認、避難判断のアプリ活用)

～新型コロナウイルス感染症予防のため～

鳥取型「新しい生活様式」を実践！

緊急事態宣言の解除は「終わり」ではなく、新型コロナウイルスとの闘いの第2章の「始まり」です。気を緩めれば感染拡大を起こしかねません。

「新型コロナ克服3カ条」を守って、一人ひとりが感染予防に取り組みましょう。

また、鳥取県の自然や星空を活かして、屋内だけでなく屋外も楽しみ、県内の観光地、お店等、みんなで応援していきましょう！

新型コロナ克服3カ条

あいだがあいだ

1. 人と人 間が愛だ

人と人が約2m離れば、飛沫感染防止で安心！



★こんな工夫も・・・

- ・レジに並ぶときは前後にスペース
- ・歌や応援は十分な距離をとって
- ・テレビ会議やテレワーク、電話もOK
- ・オンライン飲み会や遠隔診療

みつだ と みすだ

2. 三つもの 密だとミスだ

「三つの密」の回避(密閉・密集・密接)

※これまでの集団感染が生じた場の共通点を踏まえると、「三つの密」のある場が感染拡大のリスクが高いと考えられています。



★こんな工夫も・・・

- ・定期的窓をあけるなどこまめに換気(できれば2方向で)
- ・飲食は持ち帰り、宅配も
- ・スーパーやジョギング、公園は少人数、空いた時間に
- ・会話する際は、可能な限り対面を避ける
- ・待てる買い物は通販で
- ・食事は大皿を避け、料理は個々に
- ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用

よぼう で よぼう

3. 幸せは 予防で呼ぼう

こまめな手洗いや咳エチケットで、新型コロナウイルス感染症を予防！

※発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモしておきましょう。



★こんな工夫も・・・

- ・トイレのふたを閉めて汚物を流す
- ・ビニール袋で密閉してごみを廃棄
- ・発熱、風邪症状など、無理せず自宅療養(最寄りの発熱・帰国者・接触者相談センターにご相談ください)
- ・症状がなくても、マスクを着用して会話をするのがエチケット



LINE公式アカウント
鳥取県新型コロナウイルス対策
パーソナルサポート



鳥取県
新型コロナウイルス感染症特設サイト



防災トリビー
Twitter

鳥取県

作成：鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部
(電話 0857-26-7799、7958)

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する 「ひょうごスタイル」

兵庫の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ
新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力をお願いします

I 感染拡大を予防する「日常生活」(ライフスタイル)

1 ウイルスとの共存を意識した生活習慣

- (1) 「3密」(密閉・密集・密接)の回避
- (2) 身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保(できるだけ2m。最低1m)
- (3) マスクの着用(※)、咳エチケットの徹底
- (4) 手洗い・手指消毒(手洗いは30秒程度、石けん・消毒薬の利用)
- (5) 体温測定・健康チェック(熱や風邪の症状がある時は自宅で療養)
- (6) 発症時やクラスター発生時に備え、いつ誰とどこで会ったかを記録



※熱中症リスクを考慮し、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合は、マスクをはずす。

2 日常生活の各場面別の行動スタイル

(1) 買い物	<input type="checkbox"/> 通販、電子決済の利用 <input type="checkbox"/> 展示品への接触は控える <input type="checkbox"/> レジに並ぶときは、前後にスペース <input type="checkbox"/> 計画を立て、1人又は少人数ですいた時間に素早く済ませます
(2) 公共交通機関	<input type="checkbox"/> 会話は控えめに <input type="checkbox"/> 混んでいる時間帯を避ける <input type="checkbox"/> 徒歩や自転車も併用する
(3) 食事	<input type="checkbox"/> 持ち帰りや出前、デリバリーも利用 <input type="checkbox"/> お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避ける <input type="checkbox"/> 対面ではなく、横並びで座る <input type="checkbox"/> 会話は控えめに <input type="checkbox"/> 大皿は避け、料理は個々に
(4) 娯楽・スポーツ等	<input type="checkbox"/> 公園はすいている時間、場所を選ぶ <input type="checkbox"/> 筋トレやヨガは自宅で動画を活用 <input type="checkbox"/> ジョギングは少人数で <input type="checkbox"/> すれ違うときは距離をとる <input type="checkbox"/> 予約制を利用する <input type="checkbox"/> 歌や応援は、十分な距離の確保かオンラインで
(5) 冠婚葬祭等	<input type="checkbox"/> 多人数での会食は避ける <input type="checkbox"/> 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

II 感染拡大を予防する「働き方」(ワークスタイル)

- 在宅勤務(テレワーク)、ローテーション勤務、時差出勤の推進 会議はオンラインで
- 対面での打合せは換気とマスクを 発熱など体調不良の従業員の出勤を停止 職場での「3密」防止

III 自然災害と感染症との「複合災害」への備え(災害文化)

1 「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドライン」の活用

2 複合災害に対応するための事前準備

- ・ 自然災害と感染症との「複合災害」に備え、避難場所・避難所の確認や避難所での対応等について、事前に準備
- ・ 避難判断にあたっては、「マイ避難カード」や「ひょうご防災ネット」アプリを活用